

定期検診にみえらぬ患者様です。昨年の師友がみえらぬに相談されたのを以て様々に紹介させて頂きました。

ひとりごと



福田 敏

歯科の診療椅子から感傷に見る彼の葉も、すっかり成長して夏の陽ざしをしっかりと受け止めている。

一年の内にこれほどの変化を見せる樹木が他にあるだろうか。満開の花は人々の心をこらえ、奪われるがそう長くは続かない。知れが故に惜しまれる。

夏はその葉で太陽から人々を守ってくれる。それも公園など特別な場所を除いてはそれほど有難味を感じてはいない。秋は落した葉の吹きさらしで、冬はグレイエツトして、まるで枯木のような容姿でじつと寒風にさらされ舞の目に止まらない。

私はこの窓から四季それぞれの移り変わりを眺め続けている。毎月八日を「八」(圓)の日と定めて欠かさず通院しているからである。

冬を頑張りに通した桜の木は春雨をためて花芽の準備をはじめる。桜は体内に温度調節装置を自ら備えているという。若桜では三月下旬から四月初めにかけて満開となる。

私達の年代は「サクラ、サクラ、サクラが咲いた」の読本時代に小学校に入学した。入学式の日には調剤した校庭の桜を眺めて胸を躍らせたことも今ははつきりと覚えていた。

入学式の日まで一生懸命に待つていたかのようだ。小学四年頃だったか桜の木の下で「桜は大きい木になる」と教えてくださった担任の先生とこの桜の若木がなつかしい。

桜の花は自ら「きれいでしょう」とは言わない。当然ながら人々が賞賛してくれる。なんだか自戒の言葉として胸を打つ。

花が散ればやがて葉桜となる。一部の若葉はサクラ餅となつて更に春を盛りたててくれる。今頃の子供達はアンゴムの上よりテリコモの好む、悪いとは言わぬが時代の反感だとう。

花から若葉までの成長の過程は実に早い。私は退職後自家用に少しばかりの私田を耕している。田舎から二日も経てば白根が出て根付いていて、成長の様子をじつと眺めていても見えないものが一日単位で見るとその成長をとらえることが出来る。

私は現職中にこの現実を生徒に説いていたものだ。机に向かっているも早時間では効果は見えないかも知れないが、時間をかけるとその成果は見えてくるはずである。

私の愛も明朝は伸びてきている。その伸び続けているひびとコマはとらえることは出来ないが伸びていることは事実である。

桜は四季のサイクルで動いているが、人は幼少、青年、壮老と移つていくがサイクルがない。輪廻転生とは聞くが実感が無い。クロムや増やすことも芽を出すことも出来ない。だから今の命を大切にしたい。

診療所の壁を覗きながら自問自答するのであった。

患者様の感想文紹介

(インプラント治療を受けた感想)

Q1. 何故インプラント治療を受けたいのか? 病院からの説明を聞いて、入歯歯科インプラントの方が良いと思、決まりました。

Q2. 手術を受ける前はどんな気持ちでしたか? 別に手術に事にはあまり心配はしていませんでした。しかしインプラント治療が始るとそれに歴史があるわけでは無い、自分の口元がどうなるか、どうです。手術後の治療が体系的に合わぬか、どうか、どうか聞いておりました。自分とどうか、どうかに願っています。

Q3. 治療が終わって、現在はいかかですか? 今のところ、お別れ感はありません。インプラントを受けた良かったと思、ています。少し気になるのは、アブターです。インプラント歯をちゃんと維持できるか、電線在任中はあせつたりしています。(49才、男性)



PMTTCの良みについて

(実際にPMTTCを受けたら、患者様の声)

Q1. PMTTCを受けたと思、て、どうですか? インプラントを受けたこと、50才位までは歯に自信があり、毎に年齢が高くなると共に矯正歯と歯とが病んでくるという事実、直面向して定期的に歯と歯との管理をしていく必要を感じて居ます。

Q2. PMTTCを受けてみて? 若い頃は歯が健康なのは当然と、うんと、余り歯科医院に通うというのを怠っていました。日常的に歯科に通うことで生活の一部に入るようになって居ました。専門の方が口の中全般の相談が、下り、歯と歯とを正しくして、い、て、あげる、気持ち、良いです。

Q3. PMTTCを受けて気持ちや生活に変化は? 歯の状態を常に見て頂くことで、食生活を送ることができて居るし、気持ちも明るくなりました。

診療日のお知らせ

- は 休診日
- は 矯正の日
- △ は 午後から休診

1						
○	△	△	△	△	△	△
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙
㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱

2						
△	△	△	△	△	△	△
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝
㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵

3						
△	△	△	△	△	△	△
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝
㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵